

郡市区等医師会 御中

大阪府医師会
(公印省略)

妊産婦の劇症型A群溶連菌(GAS)感染症罹患の注意喚起について

平素は、本会活動の推進に対しまして、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

日本医師会より標記通知が発出されましたので、情報提供申し上げます。

本件は、今般、日本産婦人科医会が実施した事業において、劇症型A群溶連菌感染症(GAS)による妊産婦の死亡が2023年7月から2024年3月までに5人報告されていることを踏まえ、同医会及び日本産科婦人科学会の連名で標記通知が発出されたことを知らせるものです。

GASについて、多くは上気道感染症状で発症し、上気道に感染した溶連菌が血流を通じて妊娠子宮へ到達し、子宮内感染を起こすことによって母児ともに致死的な転帰を来すことのある疾患で、疫学的に妊産婦はハイリスクとしています。

報告例では、発熱、咽頭痛、消化器症状で一般内科を受診し、数日してから胎児死亡、播種性血管内凝固症候群(DIC)、多臓器不全で産婦人科を受診し、妊産婦死亡となっている症例が目立っているとされています。

このようなGASに伴う妊産婦死亡を減少させるためには、早期診断、積極的な治療が不可欠であり、産婦人科医のみならず、上気道炎などで妊産婦を診療する医師の協力が必要としています。

貴会におかれましてはご了知の上、会員医療機関へのご周知をお願い申し上げます。

記

●妊婦が発熱やのどの症状を訴えた場合

- ・ 家族など周囲に溶連菌による咽頭炎などがなかったかを聞く
(妊婦の感染はほとんどが経産婦である)
- ・ 頻回に簡易検査キットで確認する(偽陰性も多い)
- ・ 妊婦で溶連菌感染を疑う場合はペニシリンを積極的に投与する
- ・ 妊婦のGASは、周産期センターではなく、救命センターに搬送する

【参考】

日本医師会メンバーズルームから別添文書の閲覧が可能です。

https://www.med.or.jp/japanese/members/bunsyo/data3/kenko2/2024ken2_727.pdf

※閲覧にはユーザー名とパスワードでのログインが必要です。

ユーザー名：会員ID(日医刊行物送付番号)の10桁の数字(半角で入力)です。

宛名シール下部に印刷されている10桁の数字です。

パスワード：生年月日の「西暦の下2桁、月2桁、日2桁」を並べた6桁の数字(半角)

大阪府医師会地域医療1課
TEL:06-6763-7012